

みんなでつくり  
まちづくりの  
基本ルール

協働のまちづくりフォーラム

まちづくり基本条例 市民学習会

第1回



---

日時:平成20年8月23日(土) 14:00~16:00(終了予定)

会場:吉田公民館 3階 講堂

---

## ■プログラム

14:00	開会
14:05	市長あいさつ
14:10	事務局説明
14:15	基調講演 演題 「まちづくりの担い手は誰か」 講師 新潟大学大学院実務法学研究科 馬場 健 准教授
15:00	休憩
15:10	パネルディスカッション テーマ 「住民と行政のパートナーシップ再構築に向けて」 パネリスト： はっぴーズ コミュニティ 代表 土田陽子さん（燕地区） 粟生津地区協議会 会長 亀倉忠士さん（吉田地区） 特定非営利活動法人すまいる 理事長 三浦章子さん（分水地区） 燕市長 小林 清 コーディネーター： 新潟大学大学院実務法学研究科 馬場 健 准教授
15:55	質疑応答
16:00	閉会

### ●配布資料

- 1 事務局説明資料「(仮称)燕市まちづくり基本条例の制定に向けた取組みについて」
- 2 基調講演レジュメ「まちづくりの担い手は誰か」
- 3 アンケート用紙

## ■講師等略歴

### 【基調講演講師・コーディネーター】

ば ば たけし

**馬場 健 さん**

新潟大学大学院実務法学研究科准教授

成蹊大学大学院法学政治学研究科修了。博士(政治学)。2004年現職に就任し現在に至る。新発田市まちづくり条例市民提案会、五泉市市民まちづくり会議のアドバイザーなどを務める。著書に『戦後英国のニュータウン政策』、共編著に『市民のための地方自治入門』がある。また、新発田市の取り組みについては、新潟日報事業社からこの秋著書を刊行予定。

### 【パネリスト】

つちだ ようこ

**土田 陽子 さん**

はっぴーズ コミュ 代表

はっぴーズ コミュ代表、NPO法人ハートフルコミュニケーション認定 ハートフルコーチ、米国NLP協会認定 NLPプラクティショナー、新潟県家庭教育サポーターなどを務める。食育指導士。燕市図書館読み聞かせボランティア、読み語りサークル「お話コロボックル」メンバー。

不安と焦りで精一杯の毎日を過ごしていた子育て中に、「コーチング」に出会い、自分自身の「ものごとの受けとめ方」の変化を実感しました。自分が変わることによって、コミュニケーションのスタイルが変わり、子どもやまわりとの関係がとて良くなりました。多くの方にこの体験を伝え、よりよいコミュニケーション(親子関係、人間関係)を築いていくきっかけづくりのために、また、この地域で、よりよい子育てをサポートするために、平成19年10月に「はっぴーズ コミュ」を立ち上げました。現在、毎月1回第2火曜日に燕市文化センターにて、子育てやコミュニケーションを語り合う「ハートフルセッション」を開催している他、不定期に「子育てコーチング講座」「親子コミュニケーション講演」などを行っています。

平成21年2月11日(祝)に、燕市文化センター3階 中ホールにおいて、NPO法人ハートフルコミュニケーション代表理事 菅原裕子さん 講演会『ハートフルコミュニケーションへ子どもの自立のために親ができることへ』を開催いたします。子どもの幸せな自立とは何か、自分の力で生きていける子どもに育てるために、親や大人がどのように関わればいいのかについて講演いただきます。皆様、是非お越し下さい。

### 【パネリスト】

かめくら ちゅうじ

**亀倉 忠士 さん**

粟生津地区協議会 会長

合併前の旧吉田町で教育委員会委員長などを務める。合併後は、燕市まちづくり住民会議(100人委員会)副会長、総合計画審議会委員やイキイキまちづくり活動審査会会長などを務める。社会福祉法人燕市社会福祉協議会理事。2005年粟生津地区協議会会長に就任し、現在に至る。

粟生津地区協議会は、「まちづくりへの住民参画」「住民と行政の協働による個性と魅力あるまちづくり」を掲げて設立された市内13地区あるまちづくり協議会の一つです。平成17年7月の設立当時から会長に就き、当該地域の既存団体である「親栄会」や「粟生津福祉会」などと連携を図るとともに、長善館と旧鈴木邸の復元事業などの取り組みをはじめとして、住みよい地域づくりを進めています。

### 【パネリスト】

みうら ふみこ

**三浦 章子 さん**

特定非営利活動法人 すまいる 理事長

1996年燕市分水手をつなぐ育成会で「ねむの木工房」を立ち上げる。2003年サポートハウス「すまいる分水」を立ち上げる。2004年障害者相談員、2006年燕市障がい福祉計画等策定委員、2007年燕市障がい者自立支援協議会委員に委嘱される。2008年NPO法人すまいるの理事長となり、地域活動支援センター・サポートハウス「すまいる分水」を運営する。

この法人は、今年の2月に県が認証した新しい法人です。障がいをそれぞれの個性と考え、障がいを持つ人が、地域の中で安心・安全に、心豊かに生きていけるように、ほほえみながら生きていけるように、適切に支援し、また、保護者・家族の日常生活を支援し、さらに、一般社会の障がいの正しい認識を広め、共に住みよい社会の構築に寄与することを目的に活動しています。

